



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月12日

上場会社名 株式会社ヨコオ 上場取引所 東
 コード番号 6800 URL https://www.yokowo.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 徳間 孝之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員常務 (氏名) 横尾 健司 (TEL) 03-3916-3111
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 2019年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|------|-------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期第2四半期 | 29,933 | 12.3 | 2,504 | 89.0 | 2,211 | 26.9 | 1,645 | 27.8 |
| 2019年3月期第2四半期 | 26,645 | 7.6 | 1,324 | 0.6 | 1,742 | 24.9 | 1,287 | 20.2 |

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 953百万円(△23.4%) 2019年3月期第2四半期 1,243百万円(△27.9%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期第2四半期 | 81.30 | 81.07 |
| 2019年3月期第2四半期 | 63.64 | 63.41 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2020年3月期第2四半期 | 43,873 | 25,169 | 57.3 |
| 2019年3月期 | 42,781 | 24,486 | 57.2 |

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 25,149百万円 2019年3月期 24,473百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期 | — | 12.00 | — | 14.00 | 26.00 |
| 2020年3月期 | — | 14.00 | | | |
| 2020年3月期(予想) | | | — | 14.00 | 28.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 59,500 | 8.7 | 4,350 | 43.6 | 3,900 | 18.7 | 2,750 | 24.5 | 135.73 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、四半期決算短信 (添付資料) 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

| | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2020年3月期2Q | 20,849,878株 | 2019年3月期 | 20,849,878株 |
| 2020年3月期2Q | 589,150株 | 2019年3月期 | 613,320株 |
| 2020年3月期2Q | 20,244,258株 | 2019年3月期2Q | 20,231,681株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の本資料に記載されている業績見通し等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2 当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位に変更しております。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間についても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における売上高は、すべてのセグメントが前年同期比で増収となり、29,933百万円（前年同期比+12.3%）となりました。営業損益につきましては、前年同期比で車載通信機器セグメントが減少となったものの、回路検査用コネクタ及び無線通信機器の両セグメントが大きく増加したことから、2,504百万円の利益（前年同期比+89.0%）と大幅な増益となりました。経常損益につきましては、前年同期の為替差益409百万円計上に対して円高による為替差損244百万円を計上したものの、営業増益により、2,211百万円の利益（前年同期比+26.9%）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、経常増益により、1,645百万円の利益（前年同期比+27.8%）と、前年同期比で増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 車載通信機器

当セグメントの主要市場である自動車市場は、米国では製造業の景況感が低下する一方で、個人消費の下支えなどにより販売台数はほぼ横ばいで推移しましたが、中国／アセアン市場では、米中貿易摩擦による景気の先行き不透明感などにより販売台数は減少しました。国内におきましては、登録車／軽自動車の販売がともに伸長したことにより、新車販売台数は前年同期比で上回りました。

このような状況の中、主力製品であるシャークフィンアンテナ／GPSアンテナをはじめとする自動車メーカー向けアンテナは、国内・海外ともに販売が伸長し、前年同期を上回りました。また、ETCアンテナなど国内向けを主とする製品につきましては、新規受注の獲得などにより前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は19,515百万円（前年同期比+4.6%）と、前年同期比で増収となりました。セグメント損益につきましては、ベトナム工場での中国からの急速な生産移管に伴う休日出勤・残業増及び新規導入した自動化ラインの償却費負担増や新規調達部材の不具合発生による一時的な費用の発生などにより、109百万円の利益（前年同期比△58.1%）となりました。

② 回路検査用コネクタ

当セグメントの主要市場である半導体検査市場は、米中貿易摩擦などを背景にスマートフォン向けの需要が減少し、IC製品では特にメモリー市場が低調に推移しているものの、5G／IoT／車載／AI／ビッグデータといった成長分野での需要増加により、中長期的には成長が継続するものとみられております。

このような状況の中、当社グループの主力製品であるBGAソケット等半導体後工程検査用治具の販売は、メモリー分野を中心に需要が減速した前年同期とは対照的に、非メモリー分野での大幅な受注増などにより、前年同期を大幅に上回りました。また、半導体前工程検査用治具の販売も、周辺機器を含めてワンストップソリューションでサービスを提供するターンキービジネスの受注獲得などにより、前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は6,068百万円（前年同期比+39.8%）と、前年同期比で大幅な増収となりました。セグメント損益につきましては、増収による増益、比較的利益率の高い製品の売上比率上昇及び生産設備の稼働率上昇などにより、1,301百万円の利益（前年同期比+360.1%）となりました。

③ 無線通信機器

当セグメントの主要市場である携帯通信端末市場は、スマートフォンの販売が減少傾向にある一方、ウェアラブル端末は多様化・高機能化により今後の成長が見込まれております。POS端末市場は、物流／製造を始めとする幅広い業界において、情報管理による業務効率化実現の観点から着実な成長を続けております。また、ヘルスケア／産業機器などの他市場も成長が期待されております。

このような状況の中、微細スプリングコネクタを中核製品とするファインコネクタ事業におきましては、POS端末／ヘルスケア市場向け販売の堅調な推移に加え、ウェアラブル端末向け販売の伸長や業務用端末向けのスポット的な受注増などにより、売上高は前年同期を上回りました。

当セグメントに含めております医療・デバイス事業につきましても、ユニット製品販売が国内・海外ともに堅調に推移したことに加え、部品販売が増加したことにより、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は4,349百万円（前年同期比+19.5%）と、前年同期比で大幅な増収となりました。セグメント損益につきましては、増収による増益、比較的利益率の高い製品の比率上昇、メディカル・デバイス事業における歩留の向上などにより、1,089百万円の利益（前年同期比+39.7%）となりました。

(事業セグメント別連結売上高)

(単位：百万円、%)

| | 前年度上期 自 2018年4月 至 2018年9月 | 前年度下期 自 2018年10月 至 2019年3月 | 当年度上期 自 2019年4月 至 2019年9月 | 前年同期比 | 前半期比 |
|-----------|---------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|-------|-------|
| | 売上高 | 売上高 | 売上高 | 増減率 | 増減率 |
| 車載通信機器 | 18,662 | 19,521 | 19,515 | +4.6 | △0.0 |
| 回路検査用コネクタ | 4,342 | 4,796 | 6,068 | +39.8 | +26.5 |
| 無線通信機器 | 3,640 | 3,789 | 4,349 | +19.5 | +14.8 |
| 合計 | 26,645 | 28,107 | 29,933 | +12.3 | +6.5 |

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は、現金及び預金減少246百万円、売上債権増加178百万円、たな卸資産増加719百万円、有形固定資産増加458百万円などにより、43,873百万円（前連結会計年度末比1,092百万円の増加）となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、仕入債務増加641百万円などにより、18,704百万円（前連結会計年度末比409百万円の増加）となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,645百万円の計上、為替換算調整勘定減少653百万円、配当金の支払283百万円などにより、25,169百万円（前連結会計年度末比682百万円の増加）となりました。

(自己資本比率)

当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は57.3%（前連結会計年度末比+0.1ポイント）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績及び直近の受注見通しを踏まえ、セグメント別売上高を下表のとおり修正いたします。営業利益につきましては、車載通信機器セグメントにおける利益率の低下及び無線通信機器セグメントにおける高利益率製品の売上比率低下が見込まれるものの、回路検査用コネクタセグメントにおける増収及び利益率上昇に伴う増益などから、上方修正いたします。経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、想定為替レート1米ドル=106円のもと、為替差損等営業外費用450百万円を見込み、下表のとおり修正いたします。

なお、想定為替レートは、本年11月以降当期末まで1米ドル=106円としております。

通期（2019年4月1日～2020年3月31日）

(単位：百万円、%)

| | 前回予想 (2019年8月7日公表) | 修正予想 | 増減 | 増減率 |
|---------------------|-----------------------|--------|--------|------|
| 売上高 | 58,500 | 59,500 | +1,000 | +1.7 |
| 車載通信機器 | 39,000 | 39,400 | +400 | +1.0 |
| 回路検査用コネクタ | 11,000 | 11,600 | +600 | +5.5 |
| 無線通信機器 | 8,500 | 8,500 | — | — |
| 営業利益 | 4,050 | 4,350 | +300 | +7.4 |
| 経常利益 | 3,700 | 3,900 | +200 | +5.4 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 2,650 | 2,750 | +100 | +3.8 |

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,189 | 6,943 |
| 受取手形及び売掛金 | 11,581 | 11,760 |
| 商品及び製品 | 4,387 | 5,108 |
| 仕掛品 | 392 | 397 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,392 | 3,387 |
| その他 | 1,387 | 1,503 |
| 貸倒引当金 | △4 | △4 |
| 流動資産合計 | 28,327 | 29,096 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 10,858 | 11,317 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 717 | 774 |
| 無形固定資産合計 | 717 | 774 |
| 投資その他の資産 | | |
| 退職給付に係る資産 | 15 | 25 |
| その他 | 2,861 | 2,659 |
| 投資その他の資産合計 | 2,877 | 2,685 |
| 固定資産合計 | 14,453 | 14,777 |
| 資産合計 | 42,781 | 43,873 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,019 | 6,660 |
| 短期借入金 | 3,539 | 3,470 |
| 未払法人税等 | 330 | 400 |
| 賞与引当金 | 540 | 779 |
| 製品保証引当金 | 364 | — |
| その他 | 3,327 | 3,218 |
| 流動負債合計 | 14,121 | 14,528 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,400 | 3,400 |
| 退職給付に係る負債 | 173 | 178 |
| その他 | 598 | 597 |
| 固定負債合計 | 4,172 | 4,175 |
| 負債合計 | 18,294 | 18,704 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,996 | 3,996 |
| 資本剰余金 | 3,981 | 3,981 |
| 利益剰余金 | 16,197 | 17,546 |
| 自己株式 | △719 | △691 |
| 自己株式申込証拠金 | 0 | — |
| 株主資本合計 | 23,456 | 24,833 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 355 | 326 |
| 為替換算調整勘定 | 525 | △127 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 135 | 116 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,017 | 316 |
| 新株予約権 | 7 | 5 |
| 非支配株主持分 | 5 | 13 |
| 純資産合計 | 24,486 | 25,169 |
| 負債純資産合計 | 42,781 | 43,873 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 26,645 | 29,933 |
| 売上原価 | 21,793 | 23,391 |
| 売上総利益 | 4,851 | 6,542 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,526 | 4,038 |
| 営業利益 | 1,324 | 2,504 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 8 | 16 |
| 受取配当金 | 17 | 18 |
| 為替差益 | 409 | — |
| その他 | 42 | 29 |
| 営業外収益合計 | 478 | 63 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 44 | 56 |
| 為替差損 | — | 244 |
| その他 | 15 | 54 |
| 営業外費用合計 | 60 | 356 |
| 経常利益 | 1,742 | 2,211 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 0 |
| 特別利益合計 | 0 | 0 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 0 |
| 固定資産除却損 | 9 | 4 |
| 製品保証費用 | — | 14 |
| 特別損失合計 | 9 | 18 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,733 | 2,193 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 307 | 490 |
| 法人税等調整額 | 136 | 48 |
| 法人税等合計 | 443 | 538 |
| 四半期純利益 | 1,289 | 1,654 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 1 | 8 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,287 | 1,645 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,289 | 1,654 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △66 | △29 |
| 為替換算調整勘定 | 59 | △653 |
| 退職給付に係る調整額 | △38 | △18 |
| その他の包括利益合計 | △45 | △701 |
| 四半期包括利益 | 1,243 | 953 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,241 | 944 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 2 | 8 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,733 | 2,193 |
| 減価償却費 | 982 | 1,290 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 151 | 248 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 0 | △0 |
| 製品保証引当金の増減額(△は減少) | — | △364 |
| 退職給付に係る資産及び負債の増減額 | △66 | △32 |
| 受取利息及び受取配当金 | △25 | △34 |
| 支払利息 | 44 | 56 |
| 為替差損益(△は益) | △163 | 85 |
| 固定資産売却損益(△は益) | △0 | △0 |
| 固定資産除却損 | 9 | 4 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 534 | △663 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △423 | △1,017 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 423 | 1,127 |
| その他 | 30 | △189 |
| 小計 | 3,231 | 2,702 |
| 利息及び配当金の受取額 | 25 | 34 |
| 利息の支払額 | △15 | △46 |
| 法人税等の支払額 | △285 | △410 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,956 | 2,280 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,654 | △1,641 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 16 | 8 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △113 | △168 |
| その他 | △0 | △27 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,752 | △1,829 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | 1,800 | — |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 1,200 | △4 |
| リース債務の返済による支出 | △105 | △187 |
| 配当金の支払額 | △281 | △282 |
| ストックオプションの行使による収入 | 4 | 13 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 2,616 | △461 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 220 | △235 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 4,041 | △246 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,596 | 7,189 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 8,638 | 6,943 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

米国を除く在外連結子会社では、第1四半期連結会計期間の期首から「リース」(IFRS第16号)を適用しています。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

当該会計基準の適用に伴い、当第2四半期連結貸借対照表において有形固定資産が388百万円、流動負債が158百万円、固定負債が82百万円それぞれ増加し、投資その他の資産が149百万円減少しております。なお、当第2四半期連結損益計算書への影響は軽微です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|---------|---------------|--------|--------|------------|--------|
| | 車載通信機器 | 回路検査用 コネクタ | 無線通信機器 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 18,662 | 4,342 | 3,640 | 26,645 | — | 26,645 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | 58 | — | 58 | △58 | — |
| 計 | 18,662 | 4,400 | 3,640 | 26,703 | △58 | 26,645 |
| セグメント利益 | 261 | 282 | 780 | 1,324 | 0 | 1,324 |

(注) 1 セグメント利益のその他0百万円は、主に親子会社間の内部取引の相殺であります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|---------|---------------|--------|--------|------------|--------|
| | 車載通信機器 | 回路検査用 コネクタ | 無線通信機器 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 19,515 | 6,068 | 4,349 | 29,933 | — | 29,933 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | 70 | — | 70 | △70 | — |
| 計 | 19,515 | 6,138 | 4,349 | 30,003 | △70 | 29,933 |
| セグメント利益 | 109 | 1,301 | 1,089 | 2,501 | 2 | 2,504 |

(注) 1 セグメント利益のその他2百万円は、主に親子会社間の内部取引の相殺であります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。